

学校教育目標

よく考え
進んで学ぶ子

心豊かで
思いやりのある子

たくましく
最後までやりぬく子



校歌

進め前へ

作詞 及川 均
作曲 平井 康三郎

一、旗だよ きらめく 旗雲だ

あおげよ 青空太陽を

北上 奥羽山脈は

ひかるよ 金に銀青に

常盤の子よ 進め前へ

二、風だよ あかるい 朝風だ

ならせよ シンバル大だいこ

遠く世界の はてまでも

つたえよ 高い歌声を

常盤の子よ 進め前へ

三、見はれよ よく見る 黒い目を

すませよ ふかく聞く耳を

ああ水沢の 中央に

つくるよ 人の花の輪を

常盤の子よ 進め前へ



岩手県奥州市立常盤小学校

〒023-0821 奥州市水沢神明町一丁目1番5号

TEL 0197-23-2640・0197-23-2641 FAX 23-4543

ホームページ <https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/78/3925.html>

ブログ <http://tokiwae.blog.fc2.com/>

令和5年
学校
案内

学校運営の組織

特別委員会

- 研究推進委員会
- 学力向上対策委員会
- 生徒指導委員会
- 就学支援校内委員会
- 学校保健委員会
- 学校給食運営委員会
- 労働安全衛生管理委員会
- 初任者研修推進委員会

職員会議

- 運営委員会
- 総務会
- 分掌部会・学年主任会

事務補助

- 指導関係補助
- 担当者の服務管理

学校運営協議会

校長

副校長

主幹教諭

学校HP、ブログ

渉外関係全般

学習ボランティア

図書ボランティア

まちcomiメール

PTA事務局

地域連携支援本部事業

ふるさと支援事業

学校開放事務局

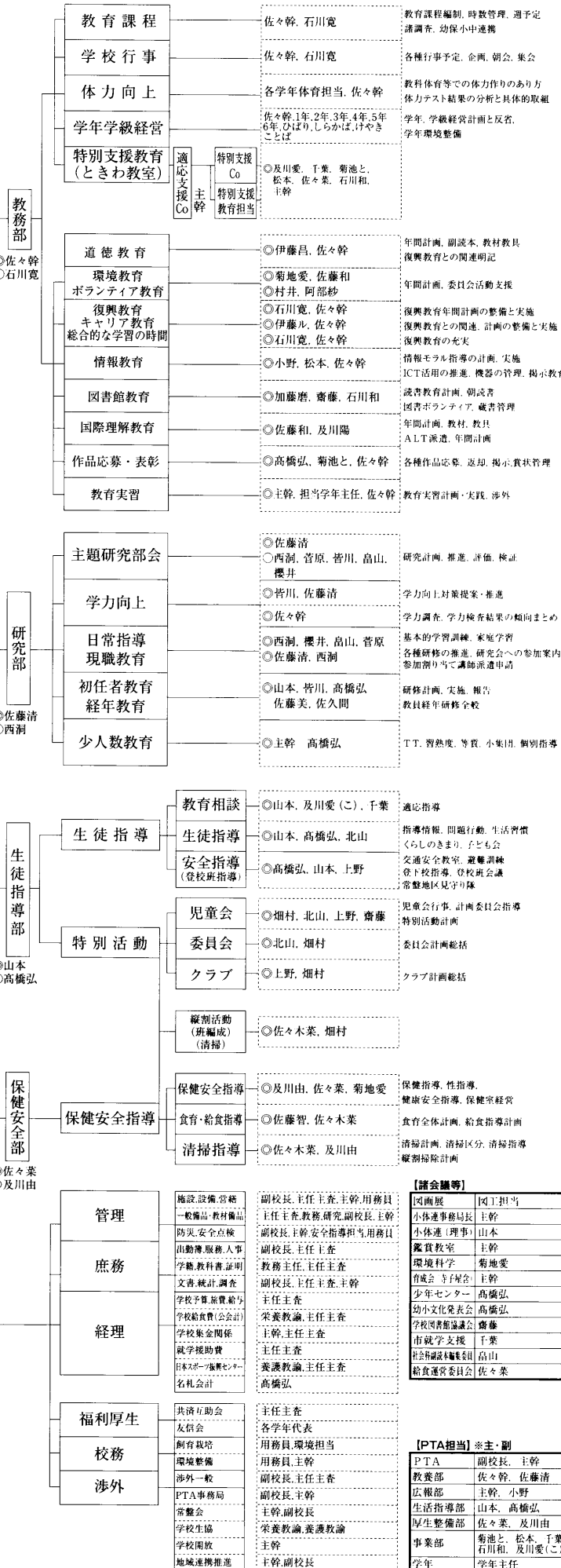
PTA専門部事務

子ども会育成会

常盤会

管理・渉外

- 副校長
- 主任主査



学年所属

1年	伊藤 普原 及川	昌江 有紀愛 (文)	小野 稜平
2年	村井 菊地 鈴木	真代 愛美 純子	佐藤 清香
3年	皆川 阿部 高橋	恭子 紗千 弘子	齋藤 由美子 鈴木 純子
4年	加藤 上野 高橋	磨英子 弘子	畠山 健太郎
5年	伊藤 北山 菅原	ルミ子 佳紀 恵理子	佐藤 和歌 櫻井 みゆき (武田 喜隆)
6年	石川 畑村 菅原	寛記 孝輝 忠理子	西洞 真希 武田 喜隆 (成川 陽子)
ひばり1(知)	菊池 ともみ	宮本 ひろみ	
ひばり2(情)	松本 晴彦	飯坂 一重	
ひばり3(情)	千葉 琴絵	中村 清香	
けやき(肢)	石川 和子		
しらかば(病)	佐々木 穂子	菅原 祐子	
ことば	及川 愛 (こ)		

研究部

学年研究部	各学年
特別支援部	菊池と、松本、千葉、石川和、佐々菜、及川愛(こ)、主幹

分掌部会

※少人数指導、管理・渉外には必要に応じて召集する

※各主任の指示のもと、全体もしくはグループに分かれて会議

教務部会

◎佐々幹

教務全般	◎佐々幹、石川寛 (各学年)
分野別教育	◎佐々幹、石川寛、伊藤昌、村井、伊藤ル、小野、加藤、佐藤和、及川陽、阿部紗
特別支援	菊池と、松本、千葉、石川和、佐々菜、及川愛(こ)、主幹
主題研究	◎佐藤清、西洞、皆川、菅原、畠山、櫻井
少人数	◎主幹、高橋弘
初任研	◎山本、皆川、高橋弘
生徒指導部会	◎山本、高橋弘、北山、上野
◎山本	◎畑村、北山、上野、齋藤
保健部会	◎佐々菜、及川由、佐藤智、菊池愛
◎佐々菜	
管理・渉外部会	◎副校長、主任主査、主幹、教務、用務員

教科担当

国語	◎加藤、菅原有、佐藤清、皆川、伊藤ル、石川寛
社会	◎畠山、阿部、伊藤ル、畑村
算数	◎西洞、小野、村井、畠山、齋藤、櫻井
理科	◎山本、上野、阿部、武田
生活	◎村井、伊藤昌
音楽	◎佐藤清、菅原有、加藤、齋藤、櫻井、西洞
図工	◎皆川、菅原有、村井、加藤、佐藤和、畑村
家庭	◎伊藤ル、石川寛
体育	◎小野、菊池愛、畠山、阿部、北山、畑村
道徳	◎伊藤昌、菊池愛、上野、齋藤、佐藤和、西洞
特別活動	◎畑村、伊藤昌、佐藤清、畠山、齋藤、佐藤和
総合	◎石川寛、加藤、皆川、北山
外国語活動	◎佐藤和、上野、皆川、西洞

委員会

生活	西洞、上野
集会	皆川、菅原有
放送	山本、及川陽、石川和
給食	高橋弘、佐藤智、千葉琴
保健	佐々木菜、及川由、及川愛
体育	小野、畠山
図書	加藤、齋藤、松本
環境掲示	佐藤和、阿部紗
福祉	村井、伊藤ル、菊池と
情報	菊池愛、伊藤昌
代表委員	石川寛、櫻井
計画委員	畑村、北山

クラブ

室内ゲーム	齋藤、松本
手芸	皆川、櫻井
ソフトボール	小野、上野
バドミントン	加藤、佐々木菜、畑村、菊池と
サッカー	畑村、菊池と
ドッジボール	伊藤昌、畠山
ソフトバレー	和藤和、阿部紗
バスケットボール	北山、菅原有
陸上・外遊び・タグ	石川寛、及川愛
卓球	西洞、菊池愛
化学	山本、及川陽
工作	伊藤ル、千葉琴
イラスト	村井、高橋弘
読書	石川和、及川由

【諸会議等】

図画展	図工担当
小体連事務局長	主幹
小体連(理事)	山本
鑑賞教室	主幹
環境科学	菊池愛
育成会(子屋舎)	主幹
少年センター	高橋弘
幼小文化発表会	高橋弘
学校図書協議会	齋藤
市就学支援	千葉
社会福祉協議会	畠山
給食運営委員会	佐々菜

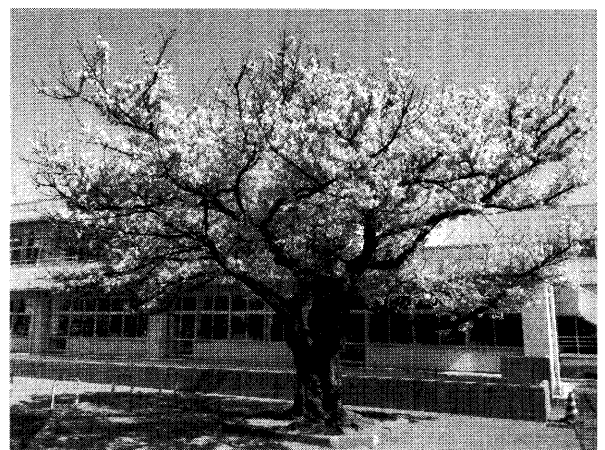
【PTA担当】※主・副

PTA	副校長、主幹
教養部	佐々幹、佐藤清
広報部	主幹、小野
生活指導部	山本、高橋弘
厚生整備部	佐々菜、及川由
事業部	菊池と、松本、千葉、石川和、及川愛(こ)
学年	学年主任

教 職 員

No.	職	氏 名	担 当
1	校 長	城生野 成 則	総 括
2	副 校 長	最 上 未 来	総 務
3	主 幹 教 諭	米 沢 浩 美	総 務 適 応 支 援 C o
4	教 諭	佐々木 幹 雄	教 務 主 任
5	主 任 主 査	内 田 民 枝	事 務
6	養 護 教 諭	及 川 由 美	保 健 安 全
7	教 諭	山 本 薫	生 徒 指 導 主 事
8	栄 養 教 諭	佐 藤 智 子	食 育 指 導
9	教 諭	高 橋 弘 子	3・4年 少 人 数 指 導
10	教 諭	佐々木 菜穂子	しらかば担任 保 健 主 事
11	教 諭	村 井 真 代	2学 年 主 任 (2-1)
12	教 諭	齋 藤 由 美 子	3-3担 任
13	教 諭	千 葉 琴 絵	ひばり 3組 担 任
14	教 諭	皆 川 恭 子	3学 年 主 任 (3-1)
15	教 諭	及 川 愛	ことばの教室担当 特 別 支 援 C o
16	教 諭	菊 池 ともみ	ひばり 1組 担 任
17	教 諭	加 藤 磨 英 子	4学 年 主 任 (4-1)
18	教 諭	伊 藤 ルミ子	5学 年 主 任 (5-1)
19	教 諭	伊 藤 昌 江	1学 年 主 任 (1-1)
20	教 諭	佐 藤 清 香	2-3担 任 研 究 主 任
21	教 諭	石 川 寛 記	6学 年 主 任 (6-1)
22	教 諭	佐 藤 和 歌	5-4担 任
23	教 諭	松 本 晴 彦	ひばり 2組 担 任
24	教 諭	西 洞 真 希	6-3担 任
25	教 諭	小 野 稜 平	1-3担 任
26	教 諭	畠 山 健 太 郎	4-3担 任
27	教 諭	菊 地 愛 美	2-2担 任
28	教 諭	畑 村 孝 輝	6-2担 任
29	教 諭	菅 原 有 紀	1-2担 任
30	教 諭	上 野 実 花	4-2担 任
31	教 諭	北 山 佳 紀	5-2担 任
32	教 諭	阿 部 紗 千	3-2担 任
33	教 諭	石 川 和 子	けやき担 任
34	教 諭	菅 原 恵 理 子	5・6年 少 人 数 指 導
35	教 諭	飯 坂 一 重	ひばり 2組 支 援
36	教 諭	武 田 喜 隆	5・6年 理 科 専 科
37	教 諭	佐 久 間 充	拠 点 校 指 導 教 員
38	講 師	及 川 陽 子	英 語 専 科 羽 田 小 兼 務
39	講 師	櫻 井 みゆき	5-3担 任
40	緊急スクールサポートスタッフ	千 葉 紀 子	

No.	職	氏 名	担 当
41	用 務 員	及 川 弘 英	校 務
42	調 理 師	高 橋 美 佳	給 食 室 調 理
43	調 理 師	千 葉 努	給 食 室 調 理
44	学 校 用 務 員	千 田 祐 寿	校 務
45	学 校 調 理 員	岩 渕 幸 子	給 食 室 調 理
46	学 校 調 理 員	阿 部 里 絵 子	給 食 室 調 理
47	学 校 調 理 員	平 明 子	給 食 室 調 理
48	学 校 調 理 員	菊 池 瞳	給 食 室 調 理
49	学 校 司 書	榑 早 紀	図 書 館 教 育
50	特 支 支 援 員	中 村 清 香	ひばり 3組 支 援
51	特 支 支 援 員	宮 本 ひろみ	ひばり 1組 支 援
52	特 支 支 援 員	及 川 愛	1学 年 支 援
53	特 支 支 援 員	菅 原 祐 子	病 弱 児 童 対 応
54	小 集 団 指 導 対 応	鈴 木 純 子	2年・3年 補 助
55	語 学 指 導 補 助 員	曾 穎	
56	ス ー ク ル カ ウ ン セ ラ ー	蓑 輪 いづみ	
57	初 任 研 後 補 充	佐 藤 美 果 子	



P T A 役 員

会 長	森岡 勝也	幹 事	及 川 ユキ
副 会 長	阿部由起男	幹 事	佐々木朋滋
副 会 長	川村 幸子	幹 事	千田 慎也
副 会 長	菰岡 律子	事 務 局	最上 未来 (副校長)
副 会 長	芦萱 浩二	事 務 局	米沢 浩美 (主幹教諭)
副 会 長	城生野成則 (校長)	監 事	佐藤 修一
幹 事	佐藤真理子	監 事	三宅 由紀
幹 事	朝倉 理恵		

学 校 運 営 協 議 会 委 員

遠藤 清逸	穂積 十五
及川 勝幸	伊藤 明
佐々木 勤	三宅 由紀
佐藤たき子	田村恵美子
花輪 清人	森岡 勝也
熊谷 義博	阿部由起男
藤原 正美	芦萱 浩二
山崎 秀夫	川村 幸子
砂子田雅文	菰岡 律子

学 校 医

内 科	佐藤 英俊
内 科	菅原 久江
眼 科	亀井 俊也
耳 鼻 科	金子 康治
歯 科	朴澤 弘康
歯 科	加藤 秀昭
歯 科	佐々木 俊
薬 剤 師	中目 直子

学校経営の基本方針

1 はじめに

21世紀は知識基盤社会の時代であり、子どもたちが将来生きていくためには、その資質・能力に関する問いを、従来の「何かを知っているか」から、知識・技能を活用して「どのような問題解決を成し遂げるか」へと転換することが求められている。

そして、学校においては、各教科の基礎基本の知識・技能の習得にとどめることなく、それを活用して思考・判断・表現する力にまで高めなければならない。そのような資質・能力を「主体的・対話的で深い学び」を通して育成していきたい。また、自分を律し善悪の判断ができ、他を思いやる心・美しいものに感動する心など豊かな心を育てることや、これらを支えている体力や健康を育成することも大事である。

そこで、「学校教育目標」や「外部・内部環境の分析」に基づいた「学校経営の重点」を掲げ、我々教師も組織としての課題や自らの課題を追究し率先して行動できる教師となり、保護者や地域の人々とともに信頼される活気ある学校をつくっていきたい。

2 学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざし、「かしこく（知・智）うつくしく（徳・情）つよく（意・体力）」の子ども像を根底にし、学校教育目標を次のように定める。

学校教育目標	具 体 目 標
よく考え進んで学ぶ子	<ul style="list-style-type: none">・めあてをもち、主体的・協働的に学習する。・話をよく聞き、自分の考えを発言する（対話する）。・「伝え合い、学び合う学習」を通して、深く学ぶ。・学習の仕方・ルールを身につけ、最後まで熱心に取り組む。
心豊かで思いやりのある子	<ul style="list-style-type: none">・仲良く助け合い、励ましあう。・相手の気持ちをくみとり、場にあった行動をする。・美しいものに感動し、豊かに表現する。・ものを大切にし、自然に親しみ、みんなのために役立つ。
たくましく最後までやりぬく子	<ul style="list-style-type: none">・健康や安全に気を付け、進んで運動し、身体を鍛える。・目標をもって、あきらめず最後までやりぬく。

3 めざす学校像

学校が子どもたちの「心の居場所」「真の学び舎」となることで、子どもたちが喜んで登校し子どもたちの夢や希望が膨らむ学校でありたい。そのために、学年・学級経営が十分機能を発揮し、子ども同士の好ましい人間関係や教師との信頼関係を築くことが大事である。子どもにとって学習がよく分かり明るく温かい学校であるとともに、保護者や地域と協力・連携する学校でありたい。

(1) 楽しい学校

「わかって、できる授業」の展開、協力し合い、学び合う学級経営の充実

(2) 生き生きとした学校

子どもが意欲をもって学習し、主体的に活動する多様な取り組みの工夫

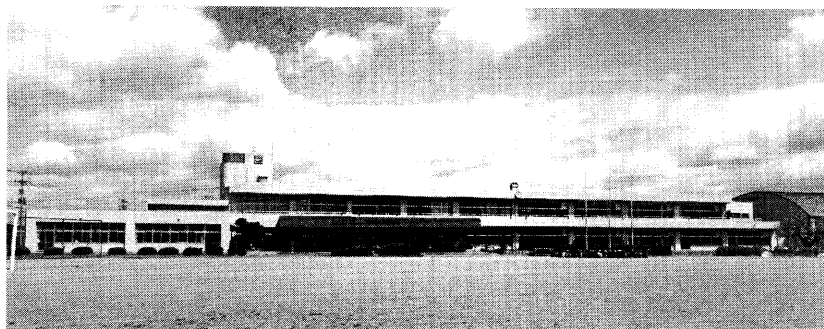
(3) きれいな学校

教育環境が整い、安全にのびのびと活動できる教室・場の提供

4 経営方針

日々、子どもの幸せと成長を願い、子どもの力を伸ばす学校でありたい。

- (1) 学年・学団・学級経営の充実
- (2) 学習指導の充実
- (3) 心の教育の充実
- (4) 体力向上と、健康・安全教育の充実
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 幼・保・小・中の連携強化
- (7) 開かれた学校づくりの充実



5 学校を支える内部・外部環境の分析（SWOT分析）と「学校経営の重点」

分析項目の客観的な特徴や事実	内部環境要因	
	強み (S)	弱み (W)
①児童数が600名を超え、各学年が3～4クラスの大規模校である。	S1: 学年会を重んじ、若手教員を育成しながら、教員が協働的に学年・学級経営にあたっている。	W1: 児童に規範意識や学習規律の欠如が見られる。また、保護者へのより丁寧で迅速な対応への配慮が必要である。
②CRTでは、全国比103をクリアしている学年が多い。	S2: 全国学調、県学調、CRTで、全国比103以上を目指して授業改善に励んでいる。	W2: 基礎学力（四則計算等）の定着が不十分で、全国や県と比べて達成率が低い学年もある。
③研究主題に沿った授業を行うことで、コの字・ペア・小グループでの学び合いに励み、学級内での多様な意見交流ができる子が多い。	S3: 「主体的に考え、表現する子ども」を主題に「伝え合い・学び合う授業づくりを通して」を副題に掲げ授業改善に取り組んできた。	W3: 自分の意見を積極的に話せない児童や、家庭学習が十分身に付かない児童が若干見られる。
④学級・学年経営を重視し、生徒指導を徹底しているため、大きな事案の発生が無かった。また、縦割り掃除では、「無言清掃」が定着してきた。	S4: 児童は相対的に素直で明るく、指示されたことに、積極的に取り組む児童が多い。	W4: 学級や学年で取り組みにばらつきもあり、生徒指導が不十分な場面も見られる。
⑤「挨拶の声」「返事や音読の声」が全般的に小さい。	S5: 「挨拶が響く学校」を目指して、教職員が声掛けを徹底してきた。	W5: 規範意識が低い児童、挨拶の声が小さい児童、等が若干見られる。
⑥不登校傾向や別室登校の児童が増加傾向にある。	S6: 学校と家庭との連携は、図られており、完全な引きこもりの状態にはなっていない。	W6: 家庭的な課題を抱えている児童も多く、学校の指導が十分に入らない児童も見られる。
⑦外遊びが好きで、休み時間は、外に出る子どもが多い。	S7: 担任も外に出て、子どもと一緒に遊ぶ場面が見られる。	W7: 外に出る子どもと出ない子どもの二極化が進んでいる。
⑧「三運動ときわ検定（水泳・持久走・縄跳）」に向けて、目標意識をもって練習をする児童が多い。	S8: 体育の学習に計画的にメニューを組み込み、実施している学年が多い。	W8: 学年での児童への意欲付けにより達成率に差が出ている。
⑨体力運動能力テストで、全国平均以上の項目が男子に少ない。	S9: 全般的には、目標に向かい頑張る児童が多い。	W9: 一部男子で、やりたくないものはしないという児童があり、学習面全般にその影響が見られる。
⑩特別支援学級児童（知・情・肢体・病弱）の他に、通常学級には「発達障害が児童（ADHDやLD傾向等）」が50名以上在籍している。	S10: 特別な支援が必要な児童に対し、教員と支援員等がチームで対応している。また授業のユニバーサルデザインを推進している。	W10: 支援を要する児童の早期発見と対応をするともに、その対応への工夫、研修等が必要である。
⑪学校ブログ、学年通信や学級通信等で、学校の教育活動情報を発信している。	S11: 適時、適切に情報発信している。	W11: 保護者や地域の方々から、忌憚のない意見（情報）を戴く機会が比較的少ない。
⑫学校評価を行い結果や改善点を公表している。	S12: 使命感・責任感をもって教育活動を展開し、改善意見には即応するようにしている。	W12: 学校評価の在り方の見直しも必要である。

学校経営の重点

強み (S) と支援的要因 (O) を活かし、弱み (W) と阻害的要因 (T) の改善を図る。

- | | | |
|----------------------|------------------------------|---------------------------|
| (1) 学年（学団）経営・学級経営の充実 | S1, S4, S5, S7, S9, S10を生かす。 | W1, W4, W12, T1を改善する。 |
| (2) 学習指導の充実 | S2, S3, O3を生かす。 | W2, W3, T3, T4, T5を改善する。 |
| (3) 心の教育の充実 | S4, S5, S6を生かす。 | W4, W5, W6を改善する。 |
| (4) 体力向上と、健康・安全教育の充実 | S7, S8, S9, O2, O4, O5を生かす。 | W7, W8, W9, T2, T3を改善する。 |
| (5) 特別支援教育の充実 | S10, O1を生かす。 | W10, T3を改善する。 |
| (6) 幼・保・小・中の連携強化 | S3, S4, S10, O1を生かす。 | W3, W4, W10, T3, T6を改善する。 |
| (7) 開かれた学校づくりの充実 | S11, S12, O1を生かす。 | W11, W12, T1を改善する。 |

外部環境要因

分析項目の客観的な特徴や事実	外部環境要因	
	支援的要因 (O)	阻害的要因 (T)
①幼稚園、保育園、東水沢中、常盤地区センター、常盤地区子ども会育成会、見守り隊、老人クラブ、近隣農家、Zホール、J.A岩手ふるさと、水沢子ども居場所実行委員会、PTAなど、学校に協力してくださる多くの団体がある。	O1: 幼稚園・保育園・中学校等が近くにあり、教育的交流ができています。また、教育への関心が高く、各教科の学習支援、クラブ活動、環境整備、子ども見守り隊、「遊んでいいとも」等に、積極的に協力して下さる。	T1: 学校が支援して欲しいニーズと、家庭や地域で支援できる内容が合致していない場合がある。
②スポ少、ピアノ等の習い事をする児童が多い。	O2: 各種スポ少で運動能力を伸ばしたり、文化活動で個々の能力・資質を高めている。	T2: 運動量の2極化 スポ少等以外は、地域で運動する機会が少なく肥満傾向の児童もいる。(2極化傾向がある)
③家庭読書の時間が短い児童や、ゲーム機使用時間が長い児童がいる。 家庭読書時間 (R4 全国学調・6年) 2時間以上: 12%、1時間以上2時間未満: 6% 30分～1時間未満: 17%、10分～30分未満: 19% 10分未満: 23%、全く読まない: 23% ゲームをする時間 (R4 全国学調・6年) 4時間以上: 19%、3時間～4時間未満: 27% 2時間～3時間未満: 27%、1時間～2時間未満: 23%、1時間より少ない: 3%、全くしない: 1%	O3: 学年の読破目標をめざし、読書に励んでいる児童が多いが、数年前よりは減少している。 読破目標達成率 (R4 全校) (低学年60冊、中学年40冊、高学年30冊) 学年読破目標達成率: 57.6% (2月までの結果) 57.6% (2月までの結果) 【R3 69%】 【R2 76%】 【H30 81.4%】 O4: 起きる時間は守られている。 起きる時間 (R4 全校) 達成率: $\frac{A+B}{A+B} = 90.1\%$ (6月) $\frac{A+B}{A+B} = 84\%$ (2月) 【R3 69%】	T3: 家庭読書時間の減少 (R4全国学調) 全く読まない+10分未満=46% 【R3 41%】 【H30 33%】 ゲームをする時間の増加 (R4全国学調) 4時間以上+3～4時間=46% 【R3 41%】 【H29 15%】 メディア視聴時間の増加 (R4生活リズム3学期末) ノーメディアデー達成者: 58.9% 【R3 65.7%】 【R2 60%】 TV・ゲーム2時間以内達成者: 79.1% 【R3 64.8%】 【R2 79%】
④経験不足から自信がなく、初めから諦める傾向が見られる。 難しいことでも挑戦する (R4 全国学調・6年) とても当てはまる: 24%、当てはまる: 27% あまり当てはまらない: 42%、当てはまらない: 7%	O5: 家庭の協力 歯磨きは守られている。 家庭での歯みがき (R4 全校) 達成率: $\frac{A+B}{A+B} = 95.2\%$ (6月) $\frac{A+B}{A+B} = 93\%$ (2月) 【R3 76.3%】	T4: 早寝・朝ごはんの崩れ 早寝・早起き・朝ごはん (R4・生活リズム3学期末) 早寝の未達成者: 23.0% 【R3 45.8%】 【R2 31%】 朝ご飯の未達成者: 49.1% 【R3 40%】 【R2 35%】
⑤環状線や国道4号線、狭い路地がある。通学路での交通量が増えたり、不審者情報があったりする。		T5: 得意なことはするが、得意なものを超える児童がある。様々な経験が不足している。 T5: 危機予測・回避意識が低い児童がいる。 (特に旧東中脇道路、歩道等、自転車の乗り方)

学校教育目標

よく考え進んで学ぶ子

心豊かで思いやりのある子

たくましく最後までやりぬく子

まなびフェスト

子どもたちの「心の居場所」「真の学び舎」となることで、子どもたちが喜んで登校し子どもたちの夢や希望が膨らむ学校
～ 楽しい学校 生き生きとした学校 きれいな学校 ～

- 1 「伝え合い、学び合う授業づくり」を行い、授業が分かる子どもを育てる。
※90%以上
- 2 少人数や個に応じた指導を工夫し基礎基本が定着（含：活用力）する子どもを育てる。
※全国学調、県学調、CRTなどの各種調査の全国比103P以上
- 3 授業と連動した家庭学習になるよう工夫し、「学年×10分」以上する子どもを育てる。
※90%以上
- 4 情報機器の計画的・継続的な活用を行う。
- 5 A L Tと協働し、外国語や外国語活動を円滑に行う。
- 6 読書にかかわる環境を整え、進んで読書をする子どもを育てる。
※低：60冊、中：40冊、高：30冊の達成率=80%以上
- 7 子どもたち一人一人の特性に合わせた学習支援を行う。

- 1 規範意識を高め、「常小5つのあたりまえ」を意識し、主体的に判断する子どもを育てる。
※進んで明るいあいさつできる=90%以上
- 2 誰にでも優しく、互いを思いやる学年・学級づくりを行う。
※友だちにいつも優しくできる=90%以上
※「ありがとう・ごめんなさい・どうしたの」と言える=90%以上
- 3 縦割り班活動や異学年交流を通して温かみのある人間関係を育てる。
※縦割り班活動（そうじ含む）で下級生に優しくしたり、上級生の言うことをきちんと聞いたりできる。=90%以上
※無言掃除ができる=90%以上
- 4 いじめの未然防止や早期発見・対応に、組織的に取り組む。
- 5 特別な教科道徳や復興教育の充実に取り組む。

- 1 進んで「外遊び」や「体力づくり」に取り組み、三運動ときわ検定（水泳・持久走・縄跳）の目標を達成する子どもを育てる。
※進んで「外遊び」や「体力づくり」に取り組み=90%以上
※三運動の達成率=80%以上
- 2 命を大切にする子どもを育てる。
【交通事故0を目指す】
※集団下校では並び方を守って安全に登校できる=90%以上
※下校時刻や家に帰る時刻【夏：5時、冬：4時半】を守る。=90%以上
- 3 「メディアコントロール」「早寝・早起き・朝ごはん」を守る子どもを育てる。
※メディア視聴時間は一日2時間以内
※早寝ができる。【1～3年生は9時までに、4～6年生は9時30分までに】
※早起きができる。【朝6時30分までに】
※朝ごはんをしっかり食べる。
=上記：全て90%以上
- 4 手洗い・うがい・歯みがきなどの保健指導や、食育・清掃指導を、計画的に行う。
※家でも学校でも丁寧に歯みがきできる=90%以上

育てフェスト

家庭・地域が一丸となって、子どもたちのよりよい成長を目指そう！
～ご家庭・地域での取り組みの協力を～

メディアコントロール

- ① メディア視聴は1日2時間以内（テレビやゲーム、ネットをふくめて）
※年4回ノーテレビデー
- ② 学習の時はテレビを消す

あいさつ・読書

- ① 家庭・地域でも明るい挨拶をします。（あいさつは大人から 大人同士も）
- ② 家庭でも読書を日常的にします。（本は夢・知識・心の宝箱）

早寝・早起き・朝ごはん

- ① 早寝：1～3年は午後9時までに、4～6年は午後9時半までに
- ② 早起き：午前6時30分までに
- ③ 朝ごはん（脳へのエネルギー充填）
- ④ 歯みがき（毎食後）

地域との連携

学習ボランティア
（ときわゲストバンク）

図書館ボランティア

常盤地区子ども会育成会

学校支援地域本部

常盤登下校見守り隊

常盤地区センターの各種事業

※1学期末・2学期末に学校評価アンケート（まなびフェスト・育てフェストの評価を含む）を実施し、夏休み後・冬休み後に「評価結果と改善方策について」を作成し、全ての保護者に配布します。

学校生活の概要

各学年別人数

(R5.4.1現在)

	学級数	男	女	計
1年	3	55	36	91
2年	3	40	52	92
3年	3	47	46	93
4年	3	42	58	100
5年	4	60	55	115
6年	3	41	49	90
特別支援	5	16	4	20
合計	24	301	300	601

日程表

令和5年度

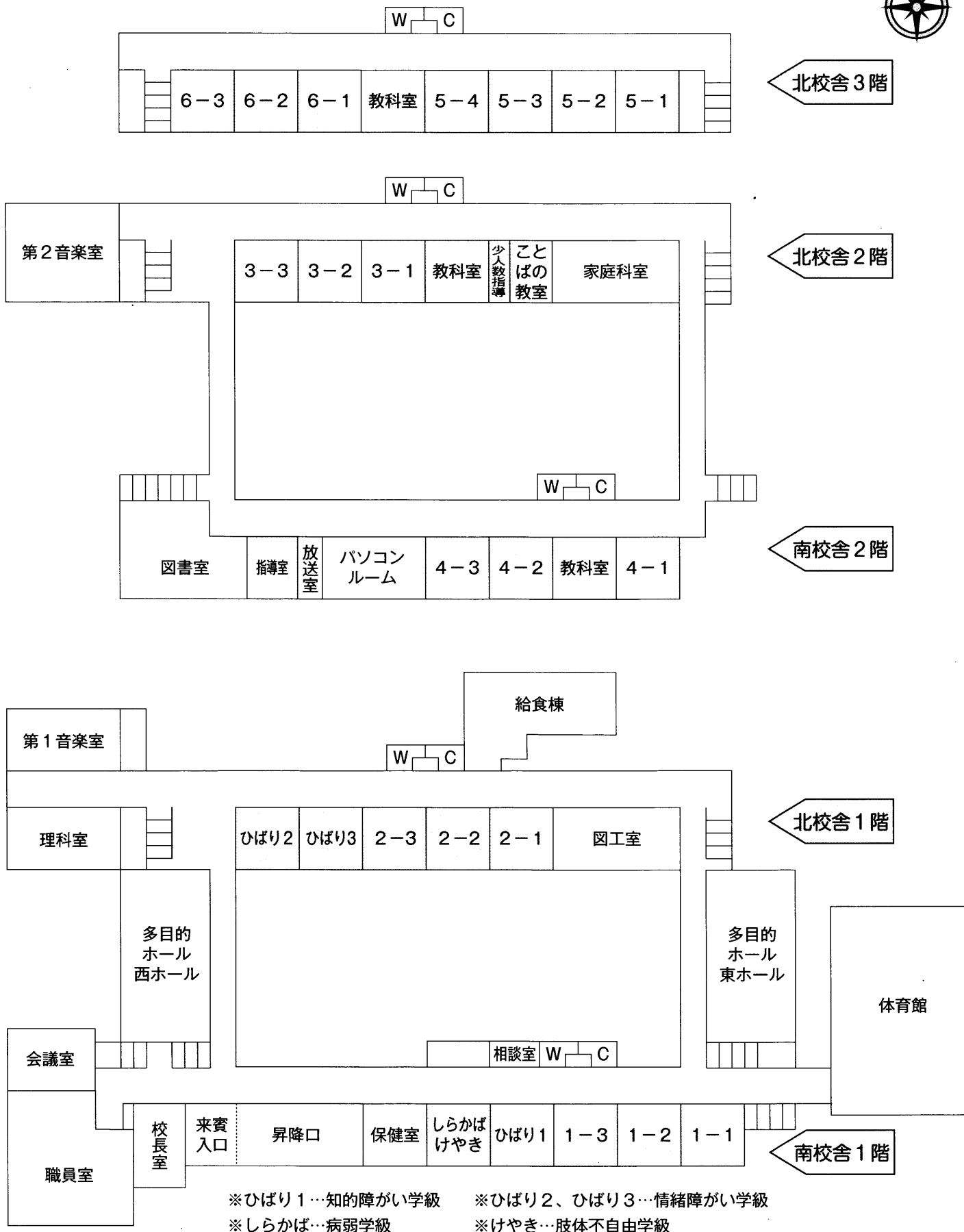
	月	火	水	木	金				
朝の会(10)			8:10 ~ 8:20						
1			8:20 ~ 9:05						
(5)									
2			9:10 ~ 9:55						
3			9:55 ~ 10:40						
(中休み)			10:40 ~ 10:55						
(5)									
4			11:00 ~ 11:45						
5			11:45 ~ 12:30						
給食(45)			12:30 ~ 13:15						
昼休み(20)			13:15 ~ 13:40						
(5)									
昼活動(20)			13:45 ~ 14:05						
	清 掃	全校・児童集会 学級の時間	清 掃	全校読書	清 掃				
(5)									
[下学年] 帰りの会(10)	[上学年] 6	全校:帰りの会 14:10~14:20 下学年下校 14:25	1年: 帰りの会 14:10~14:20 放課	2~6年: 6校時 14:10~ 14:55	1~3年: 帰りの会 14:10~14:20 1,2年:放課 3年: モジュール 14:20~14:35 放課	4~6年: 6校時 14:10~ 14:55	全校:帰りの会 14:10~14:20 全校下校 14:30	1,2年: 帰りの会 14:10~14:20 放課	3~6年: 6校時 14:10~ 14:55
放課(14:25)		4~6年:クラブ (14:25~15:25)							
	帰りの会(10)	(5,6年:委員会 14:25~15:10)	帰りの会 14:55~15:05		帰りの会 14:55~15:05				帰りの会 14:55~15:05
	モジュールM(15)		モジュール 15:05~15:20 放課		モジュール 15:05~15:20 放課				モジュール 15:05~15:20 放課
下校	15:40	16:05 冬 16:30 夏	16:05 冬 16:30 夏	一斉下校 14:30	15:40				



学校の歴史

- 昭30. 4. 1 水沢市立常盤小学校として創立
- 30. 4. 6 水沢小、佐倉河小常盤分校、真城小瀬台野分校にて授業開始
- 32. 10. 1 校章制定
- 33. 3. 31 体育館落成
- 35. 12. 3 校歌制定
- 38. 12. 23 給食室完成 給食実施
- 42. 4. 1 精神薄弱児学級創設
- 46. 10. 6 学校給食優良校として文部省表彰
- 47. 11. 30 体育館竣工
- 49. 7. 20 プール竣工
- 53. 9. 29 文部省指定体力作り公開研究会開催
- 54. 3. 31 体力作りの実践により文部省体育局長より感謝状を受ける
- 54. 11. 27 P T Aの協力により校旗制定
- 55. 11. 12 市教委・P T Aの協力により吹奏楽部結成
- 56. 4. 1 昭和56年、57年度文部省小学校教育課程国語科研究指定校を受ける(～57年)
- 57. 10. 6 同上学校公開研究会開催
- 60. 4. 5 神楽クラブ発足、水沢市無形文化財指定
- 60. 11. 13 水沢市教育委員会指定国語科学校公開
- 62. 9. 28 国語科学校公開研究会開催
- 63. 1. 20 P T Aより吹奏楽器寄贈される
- 63. 10. 17 水沢市教育委員会指定国語科学校公開
- 平 2. 1. 29 体育館床全面塗装
- 2. 10. 1 新校舎起工式
- 3. 2. 1 国語科学校公開研究会開催
- 4. 4. 1 学校教育目標改訂
- 4. 8. 1 新校舎落成記念式典並びに祝賀会举行
- 4. 12. 2 施設活用授業公開研究会(全教科・全領域)
- 6. 10. 19 学校公開研究会(水沢市教育委員会指定)
- 6. 11. 1 岩手県教育表彰受賞
- 7. 11. 1 岩手県社会福祉教育表彰受賞
- 8. 4. 22 合唱団結成
- 9. 10. 7 第42回岩手県社会科教育研究大会水沢大会
水沢市教育委員会指定社会科・生活科学校公開
ことばの教室創設
- 12. 4. 1 教育実践研究大会 水沢市教育委員会指定
「生活科・総合的な学習の時間」
- 14. 9. 27 県学校給食優良校表彰
- 16. 1. 15 学校給食文部科学大臣賞受賞
- 16. 11. 10 常盤地区見守り隊発足
- 18. 6. 20 岩手県学校給食調理コンクール
岩手県学校給食センター協議会会長賞受賞
- 20. 4. 1 きこえの教室開級
- 21. 10. 2 教育実践研究大会 奥州市教育委員会指定
「国語科・算数科」
- 23. 3. 11 東日本大震災
- 23. 4. 1 大船渡市立猪川小学校と支援校提携
- 25. 11. 25 第52回岩手県国語教育研究協議会胆江大会プレ大会開催
- 26. 11. 21 第52回岩手県国語教育研究協議会胆江大会開催
- 27. 11. 7 創立60周年記念式典
- 28. 4. 1 難聴学級(いちよう学級)設置
- 28. 9. 29 奥州市教育委員会指定学校公開研究会
- 29. 4. 1 肢体不自由学級(けやき学級)新設
- 令 2. 4. 1 市「教育課程編成の工夫に係る実践モデル校」指定
- 3. 4. 1 市「コミュニティースクール推進協議会モデル校」指定
- 4. 2. 8 学校運営協議会設置
- 4. 2. 3 第68回青少年読書感想文コンクール学校賞受賞

令和5年 校舎平面図



※ひばり1…知的障がい学級 ※ひばり2、ひばり3…情緒障がい学級
 ※しらかば…病弱学級 ※けやき…肢体不自由学級